

令和5年度

すんざばる  
須武座原遺跡発掘調査  
速報展

■ 約6,000年前の遺物



八重瀬町教育委員会では令和3年度から八重瀬町字具志頭に所在する須武座原（すんざばる）遺跡で継続的に発掘調査を行っています。

遺跡では八重瀬町で新発見となり沖縄県内でも数少ない約1万年前の貝類をはじめ、約6,000年前の土器や貝製品など、さまざまな貴重な遺物が出土する遺跡であることがわかってきました。

現在資料の整理作業中のため小規模となりますが、これまでの調査成果を一早く知ってもらうため、出土した遺物など成果の一部を紹介します。

期間 3/5 - 3/31  
(火) (日)

時間 9時00分～17時00分 ※入館は16時30分まで

休日 月曜日 ※月曜日が公休日の場合、翌日が休日

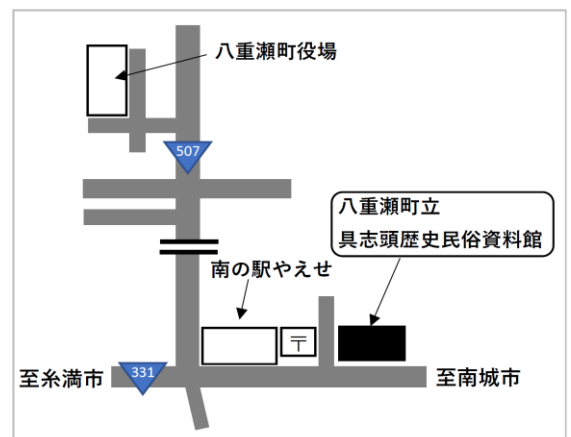
会場 八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館(ロビー)

観覧料 無料

問合せ 八重瀬町字具志頭352番地

八重瀬町教育委員会 生涯学習文化課

☎098-835-7500





## 紹介遺跡

- ガルマンドー原貝塚〈沖縄貝塚時代後期～グスク時代〉(新城)
- 港川遺跡〈沖縄貝塚時代前期～近代:港川〉(港川)
- 登口原東遺物散布地〈グスク時代～近世〉(仲座)
- 東風平原東遺物散布地〈グスク時代～近代〉(東風平)
- 新城A遺跡〈グスク時代～近世〉(新城)
- 東風平原遺物散布地〈グスク時代～近代〉(東風平)
- ジリグスク〈グスク時代〉(富盛)
- 玻名城古島遺跡〈グスク時代〉(玻名城)
- 須武座原遺跡・暗御門遺跡〈沖縄貝塚時代早期～近代〉(具志頭)

